



「自分の言葉で伝えたい」大川小児童遺族が「英語」で語り部

石巻市 大川小



見る YouTube

自分の言葉で伝えたい

「自分の言葉で伝えたい」大川小児童遺族が「英語」で語り部〈宮城〉

2023.7.10 仙台放送

東日本大震災の津波で児童74人、教職員10人が犠牲となった石巻市の大川小学校で、児童の遺族が、7月10日、アメリカから訪れた高校生などに対し、英語で語り部を行いました。

石巻市の震災遺構・大川小学校を訪れたのは、仙台育英学園の交換留学で来日しているアメリカの高校生などおよそ20人です。

英語による語り部を行ったのは、当時、6年生だった次女・真衣さんを亡くした鈴木典行さん（58）です。コロナ禍を受け、オンラインで海外の人にも語り部をする機会が増えたこともあり、独学で英語を学んだといいます。

次女・真衣さん亡くす 鈴木典行さん（英語語り部）

「こんな自然災害が起きるときの対策は『逃げる』です。『大丈夫』と思わない。もしかしてを考え行動しましょう。それが生きるための手段です」

アメリカの高校生

「深刻な恐れを感じたときや、災害の時は危険かどうか迷ったらまずは避難することが大切だと感じた」

次女・真衣さん亡くす 鈴木典行さん

「遺構を見るだけでなく、伝えられればと考え英語で話そうと考えた。これからもっと練習して自信をつけて、もっと発信していこうと思います」

「自分の言葉で伝えたい」鈴木さんは、今後も、こうした活動を続けていくということです。